

令和元年度 管理職選考申込状況

筆記考査は、8月24日(土)
試験会場は、拓殖大学

令和元年度管理職選考の申込状況がまとまりました。

〈全体の申込状況〉

I類(全部、分割及び免除受験方式)が773人、II類が80人、合計853人となり、前年度に比べ19人の減少となりました。全体の申込率は、前年度より0.3ポイント減となる5.1%でした。I類技術の選考区分においては、申込者数が2人減少しました。

〈分割受験方式〉※1
189人の申し込みがあり、前年度に比べ22人の増加となりました。

〈免除受験方式〉※2

免除資格を得ている412人にに対し、297人の申し込みがあり、他の受験方式に比べ高い申込率を維持しています。

〈前倒し受験方式〉※3

申込者数は349人となり、申込者数は前年度に比べ25人の増加となりました。

I類(全部、分割及び免除受験方式)及びII類

(単位：人、%)

		有資格者数		申込者数				申込率		元年度 合格予定者数
		元年度	30年度	元年度	30年度	増	減	元年度	30年度	
I類	事務	13,229 (8,390)	12,530 (7,956)	555 (87)	534 (80)		21	4.2	4.3	111※
	I (土木造園)	678 (89)	656 (77)	99 (1)	92 (3)		7	14.6	14.0	39
	II (建築)	479 (122)	442 (91)	57 (8)	56 (2)		1	11.9	12.7	
	III (その他)	1,425 (884)	1,376 (869)	62 (13)	72 (15)	△	10	4.4	5.2	
	小計A	15,811 (9,485)	15,004 (8,993)	773 (109)	754 (100)		19	4.9	5.0	150
II類	事務	655 (162)	849 (219)	64 (9)	94 (22)	△	30	9.8	11.1	63※
	技術	156 (31)	198 (39)	16 (2)	24 (4)	△	8	10.3	12.1	27
	小計B	811 (193)	1,047 (258)	80 (11)	118 (26)	△	38	9.9	11.3	90
計A+B		16,622 (9,678)	16,051 (9,251)	853 (120)	872 (126)	△	19	5.1	5.4	240

(注) () 内の値は、女性の人数を内数で表したものです。

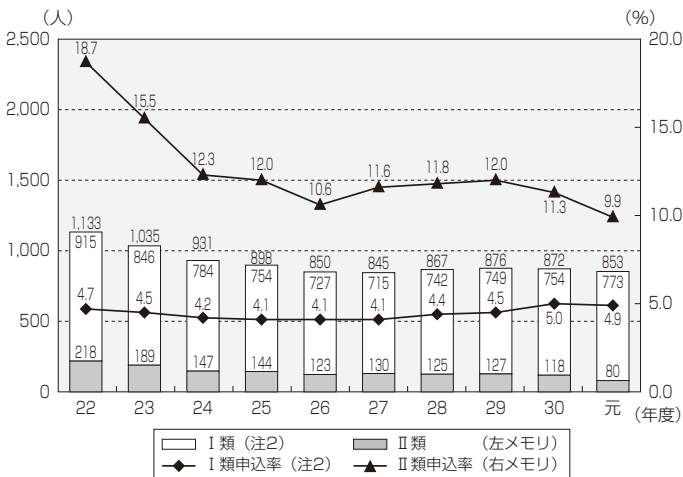
※ I類事務・II類事務の合格予定者数は、各区が算出した必要数の合計で要綱発表時(4月)の人数です。

前倒し受験方式

(単位：人、%)

	有資格者数		申込者数				申込率	
	元年度	30年度	元年度	30年度	増	減	元年度	30年度
事務	3,426 (1,843)	3,155 (1,683)	270 (42)	266 (30)		4	7.9	8.4
技術I、II、III	830 (327)	770 (302)	79 (4)	58 (6)		21	9.5	7.5
小計	4,256 (2,170)	3,925 (1,985)	349 (46)	324 (36)		25	8.2	8.3

管理職選考の受験申込者数及び申込率の推移



(注2) 全部、分割及び免除受験方式の受験申込者数及び申込率となります。

※1 分割受験方式とは、択一・短答式問題受験の免除資格を得るため、択一・短答式問題のみを受験する方式です。

※2 免除受験方式とは、択一・短答式問題受験の免除資格を得ている人が、記述式問題及び論文式問題を受験する方式です。

※3 前倒し受験方式とは、主任の職にあり、その在職期間が3～5年目の人(経験者採用制度により採用された人等の特例あり)が、択一・短答式問題受験の免除資格を得るため、択一・短答式問題のみを受験する方式です。

行政需要の拡大や組織改正及び大量退職により今後も需要数が一定以上見込まれます。人事委員会事務局は、引き続き有資格者の方の積極的な受験を呼びかけていきます。

受験者の皆さんは、体調を整え、万全の状態で当日を迎えられるよう、しっかりと準備をしてください。

(特別区人事委員会事務局)

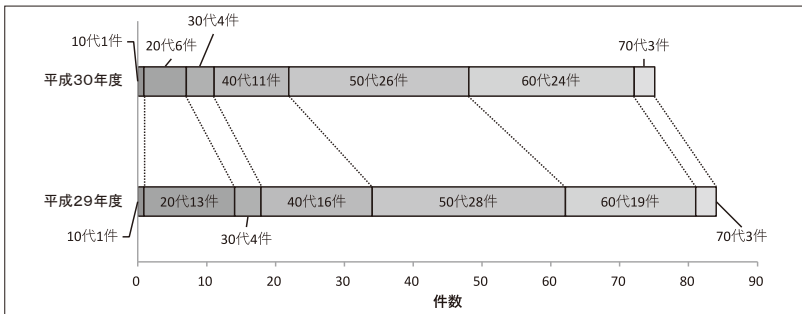
平成30年度 特別区非常勤職員の 公務災害・通勤災害について

(平成30年4月分～平成31年3月分)

(单位：件、%)

職種別	平成29年度		平成30年度	
	件数	割合	件数	割合
1 区議会議員	0	－	0	－
2 保育士等	14	16.7	14	18.7
3 給食調理等	1	1.2	1	1.3
4 各種指導員	20	23.8	13	17.3
5 事務補助	17	20.2	11	14.7
6 用務補助	3	3.6	3	4.0
7 作業員	0	－	0	－
8 福祉協力員	0	－	0	－
9 徴収嘱託員	1	1.2	2	2.7
10 施設管理等	0	－	1	1.3
11 警 備 員	0	－	0	－
12 児童厚生員等	22	26.2	23	30.7
13 栄 養 士	0	－	0	－
14 介 添 員	0	－	5	6.7
15 一般業務補助	6	7.1	0	－
16 清 掃 関 係	0	－	1	1.3
17 そ の 他	0	－	1	1.3
計	84		75	

2 年齡層別

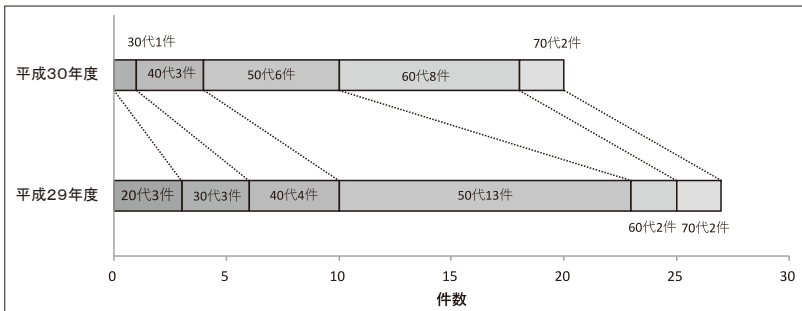


(平成30年4月分～平成31年3月分)

(单位：件、%)

職種別	平成29年度		平成30年度	
	件数	割合	件数	割合
1 区議会議員	0	－	0	－
2 保育士等	7	25.9	4	20.0
3 給食調理等	0	－	1	5.0
4 各種指導員	6	22.2	4	20.0
5 事務補助	11	40.7	10	50.0
6 用務補助	2	7.4	0	－
7 作業員	0	－	0	－
8 福祉協力員	0	－	0	－
9 徴収嘱託員	0	－	0	－
計	27		20	

2 年齡層別



災害はひとたび発生すると、職場に大きな影響を及ぼすだけでなく、災害に遭った人も、一緒に仕事をしている人も、つらい思いをします。日頃の注意喚起や声掛け等を積極的に行い、「災害件数ゼロ」を目指していただければと思います。

平成30年度 特別区長会の決算概要

平成30年度の特別区長会の収入支出決算額は、収入額2億4200万4592円、支出額は2億2994万5741円でした。

執行にあたっては、事務事業の適切な運営と経費節減に努めました。主な内容は次のとおりです。

収入

◎各区からの分担金4600万円（1区あたり200万円）

◎（公財）東京都区市町村振興協会からの助成金1億8599万7522円

・北京市区交流事業

・特別区全国連携プロジェクト関連事業

◎前年度繰越金1000万7070円

支出

◎管理費 3005万3536円

（主な経費）

・事務室使用経費、ホームページの運営等
事務局運営経費

◎事業費 1億9989万2205円

（主な経費）

①区長会等の会議体の運営に関する経費

②特別区の事務事業、都区財政調整等の税
財政及び都区のあり方検討等に関する調
査研究経費

③特別区関係団体への負担金等の経費

④「北京市区交流事業」に係る経費

⑤「特別区全国連携プロジェクト関連事業」
に係る経費

（特別区長会事務局）

平成30年度 特別区議会議長会の決算概要

平成30年度においては、収入支出1281万2千円の予算額に対し、決算額は、収入総額1259万9972円、支出総額901万1803円となり、差引残高358万8169円を令和元年度に繰り越すこととなりました。執行にあたっては、事務事業の適正かつ効率的な運営に努めました。

収入

各区からの分担金は、1区あたり27万円で、計621万円を収入しました。

なお、前年度からの繰越金収入が331万2425円、東京都区市町村振興協会助成金が307万7547円となっています。

支出

平成30年度における支出決算の主なものは、次のとおりです。

・管理費 313万8659円

・東京区政会館維持管理負担金、事務用消耗品購入等事務局運営経費等です。

・事業費 587万3144円

議長会運営費、調査研究費及び市・町村議長会との共同事業（北京市区人民代表大会との交流事業）に係る負担金等です。

（特別区議会議長会事務局）

令和元年7月 区長会・議長の主な案件等

区長会

7.16

■東京都地域防災計画（震災編）の修正及び全国における平成30年度の災害事例等について

■東京都オリンピック・パラリンピック準備局からの情報提供等について

■令和2・3年度後期高齢者医療保険料率の「検討案」について

■後期高齢者医療広域連合協議会（7月11日開催）報告について

■特別区のスケールメリットを生かした業務効率化の研究について

■特別区長会調査研究機構理事会の概要について

■「児童虐待防止対策に係る体制強化の在り方に関する協議の場」について

■特別区全国連携プロジェクトについて

■都区のあり方検討について

■特別区長会規約の改正について

■就労証明書の標準的様式に関する取組

■大都市圏向けの新たな標準的様式の作成について

議 長 会

7.18

■議長会の要望活動について

（特別区議会議長会事務局）

令和元年第2回東京二十三区清掃 一部事務組合議会臨時会の結果

7月18日に第2回臨時会が開かれました。主な付議案件の審議結果は次のとおりです。

〈審議結果〉

・大田清掃工場第一工場再稼働に伴うプラント設備更新工事請負契約の締結について（可決）
（東京二十三区清掃一部事務組合議会事務局）

平成30年度 特別区人事・厚生事務組合の決算概要

平成30年度の一般会計当初予算額は81億6,652万4,000円でしたが、その後、都支出金の返還、財政調整基金等への積立額等の補正を行い、最終予算額は83億4,522万9,000円となりました。

歳入歳出の決算見込額は、歳入が79億6,083万4,255円（対前年度比6・3%の減）、歳出が74億7,483万5,211円（対前年度比6・6%の減）となりました。それぞれの内訳は図1のとおりです。

歳入決算の概要

各区からの分担金は、総額38億8,500万1,133円（対前年度比1・7%の増）となり、一区当たり平均の分担金は、約1億6,900万円でした。

なお、過去5年間の特別区分担金の額と歳出額の推移は表1のとおりです。

そのほか、路上生活者対策事業等に係る都支出金、厚生関係施設運営に係る受託事務収入、宿泊所新幸荘改修工事経費に充てるための組合債収入等がありました。

歳出決算の概要

事業別歳出の主な内容は次のとおりです。

◎総務管理

20億5,493万3,011円

（人事事務に従事する職員の人件費及び退職手当等を含む。）

総務事務及び監査事務等を行うとともに、今後の退職手当見込額を踏まえ、財政調整基金への積立を行いました。

◎人事制度企画

5,585万5,901円

人事制度の調査研究、労務交渉及び職員相談等に関する事務を行いました。

各交渉等の実施回数は、団体交渉17回、小委員会交渉3回、専門委員会交渉15回でした。また、職員相談件数は709件でした。

◎職員研修

3億3,811万3,027円

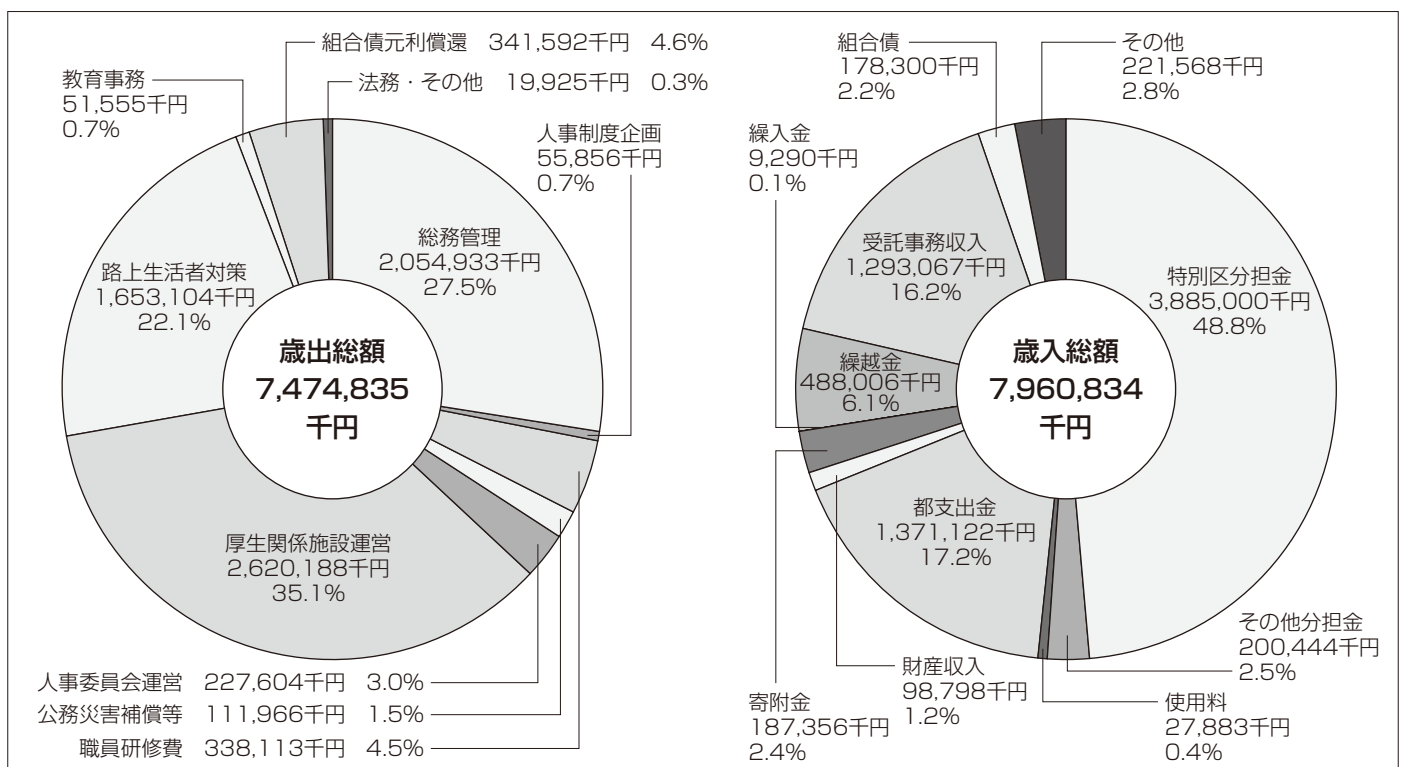
（研修事務に従事する職員の人件費を含む。）

秋葉原の東京区政会館分室において、専門研修、職層研修、ステップアップ研修、自治体経営研修、サポート研修の体系の区分により、共同研修を実施しました。

専門研修では、新たに児童相談所開設に向けた関連研修を行いました。共同研修の実施回数は235回、受講者数は1万6,681人でした（試行研修を含む）。

そのほか、特別区職員ハンドブックの改訂を行いました。

図1 平成30年度特別区人事・厚生事務組合一般会計決算見込額



構成比は四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります

◎法務

1984万3320円

特別区に関する訴訟、調停及び起訴前の和解に関する事務を行いました。訴訟事件受任件数は116件、終了件数は102件、継続件数は78件でした。

◎公務災害補償等

1億1196万6074円

特別区の非常勤職員に係る公務上または通勤途上の災害に対する補償及び特別区職員の公務上または通勤途上の災害に対する見舞金の支給を行いました。

非常勤職員公務災害補償費の支給実績は795件、特別区職員公務災害見舞金の支給実績は82件となりました。

◎人事委員会運営

2億2760万3770円

特別区人事委員会において、23区職員の採用試験、管理職選考、給与勧告、公平審査等の事務を行いました。

採用試験・選考に関しては、障害者雇用促進法が改正されたことから、障害者を対象とする採用選考において、身体障害に加えて、知的障害及び精神障害の方にも受験資格を拡大しました。採用試験全体の受験者は2万1939人、合格者数は4362人となりました。

◎厚生関係施設運営

26億2018万7690円

（厚生事務に従事する職員の人件費を含む。）

生活保護法に基づく更生施設（8施設）、宿所提供施設（5施設）及び社会福祉法に基づく宿泊所（8施設）の管理並びに利用者支援及び施設整備を実施しました。

一般施設整備については計54件の改修工事を行いました。厚生関係施設再編整備計画に基づく大規模工事については、宿泊所新幸荘第2棟改修工事経費並びに宿泊所高浜荘移転改築に係る旧施設の解体及び新施設の設計経費を支出しました。

なお、平成30年8月に「厚生関係施設等の今後のあり方について」（特別区福祉主管部長会報告）が特別区長会で了承され、利用者が特別区長会で了承され、利用者が支援の充実や施設運営体制の強化に取り組みとともに、更生施設の救護施設転換を視野に入れた課題整理に着手しました。

◎路上生活者対策

16億5310万4061円

路上生活者あるいはそのおそれのある失業者等を援護するため、巡回相談、自立支援、地域生活継続支援を行うとともに、長期化、高齢化した路上生活者に対する居住支援をモデル実施しました。自立支援における自立支援セン

ター入所者は延べ939人、巡回相談件数は延べ7922件、地域生活継続支援事業における訪問相談件数は延べ2120件、モデル事業における入居者数は27名でした。

◎教育事務

5155万5097円

（教育事務に従事する職員の人件費を含む。）

特別区人事・厚生事務組合教育

表1 特別区分担金及び一般会計歳出額の推移

	特別区分担金		一般会計歳出	
	歳入額（千円）	対前年度比（%）	歳出額（千円）	対前年度比（%）
平成26年度	3,422,326	△0.3	7,522,703	△7.7
平成27年度	3,634,709	6.2	8,084,041	7.5
平成28年度	3,681,784	1.3	7,371,850	△8.8
平成29年度	3,820,168	3.8	8,006,757	8.6
平成30年度	3,885,000	1.7	7,474,835	△6.6

※平成30年度は決算見込額

表2 地方債（組合債）の推移

	地方債残高（千円）
平成26年度	4,106,251
平成27年度	4,384,477
平成28年度	4,467,628
平成29年度	4,589,218
平成30年度	4,475,631

委員会において、幼稚園教員採用候補者選考を行いました。受験者数は505人、合格者数は45人、補欠者は4人となりました。そのほか、園長・副園長・主任教諭昇任選考及び各職層に応じた研修等を行いました。

◎組合債元利償還

3億4159万1591円

組合債の元金及び利子の償還を行いました。

厚生関係施設再編整備計画に沿って実施している改築・改修等工事に係るもので、新たに平成26年度借入分の元金の償還を開始しました。

なお、平成31年3月31日時点の組合債の残高は4億7563万1399円で、過去5年間の各年度末現在の残高推移は表2のとおりです。

（特別区人事・厚生事務組合総務部）

平成30年度 公益財団法人特別区協議会の決算概要

平成30年度特別区協議会の予算は、公益法人会計基準に則り、公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計の3つの会計で編成し、さらに、公益目的事業会計は3区分、収益事業等会計は2区分で経理し、効率的な執行を心掛けました。各会計の決算の概要は、次のとおりです。

公益目的事業会計

特別区の自治に関する調査研究及び普及啓発事業並びに特別区民等の住民福祉の向上に資する知識、教養の普及に関する事業（公1事業）、特別区有物件の火災等による損害の補てん事業（公2事業）、特別区の共同事業の執務及び特別区の連携協議等の場としての東京区政会館等の管理運営事業（公3事業）を行いました。

収入決算額
15億5843万7436円
支出決算額
14億9544万4771円

主な収入は、東京区政会館等に係る使用料及び賃料等収入と各区からの分担金、（公財）東京都区市町村振興協会からの助成金です。

主な事業内容及び支出は以下のとおりです。

*調査研究事業

1151万6614円

特別区制度研究会では、「特別区職員の人材育成に資する基礎研究」をテーマに、関係機関と連携して、調査を実施し、中間報告を

行いました。

自主研究では、東京大学公共政策大学院と連携し、平成10年の地方自治法改正につながる「61都区合意」に至る経緯をテーマに、都区の実務経験者から聞き取り調査を行い、報告書「特別区政研究9」を作成しました。

また、特別区の自治の歩みをたどる「東京大都市地域の物語」シリーズの3冊目として、昭和27年から39年までの期間を取り上げ、特別区の自治確立に向けた基礎固めの時代を描いた「東京23区 再生のいしずえ」を発行しました。

行政課題の調査研究として、特別区長会が設置した調査研究機構の事務局事務を受託し、平成31年度からの調査研究活動開始に向けた準備を進めました。

法務調査事業では、特別区の事務事業に係る法律上の紛争の調査及び研究、情報の収集及び提供を行い、「特別区法務資料（第48巻）」を発行しました。

また、特別区等において法律的専門知識を有する職員の確保・育成を推進するため、法科大学院へ通う特別区等職員に対し、その就学に係る費用を助成しました。

*情報提供・普及啓発事業

6778万9684円

特別区が発行する行政資料をはじめ、自治に関する資料等の収集、提供、管理や一般では入手困難な歴史的資料の購入を行いました。また、資料の適切な管理のため、保存年限を超過した一般書籍等の廃棄や区立図書館等への提供による資源の有効活用を図りました。

さらに、ホームページを用いて所蔵資料及びデータベース化した各種統計資料を提供しました。

講座・講演会については、特別区の自治や23区の共通課題を中心に「社会福祉」、「都市の安全・安心、危機管理」、「特別区」、「公文書管理」をテーマとして開催しました。また、首都大学東京との共同事業として、首都大学東京オープンユニバーシティ講座を235講座実施しました。

都市交流事業については、特別区長会の特別区全国連携プロジェクトをより深化させ、自治体間連携シンポジウムや魅力発信イベントの開催の他、同プロジェクトのホームページの管理・運営を行い、23区と全国自治体との連携交流促進を図りました。会員自治体数は、平成31年3月31日現在264団体となっています。

その他、観光パンフレットの配架、特別区・東京都・関連団体・全国連携賛同自治体の紹介展示及び全国連携展示の希望区での巡回展示などを実施しました。

*オール東京62市区町村共同事業

6654万740円

都内の62市区町村共同事業として「CO2削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガス排出抑制」、「みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築」、「人々が環境を考え、行動できる場の設定」の方針に基づき、（公財）東京市町村自治調査会とともに事業に取り組みました。

*特別区有物件災害共済事業

5468万7687円

特別区が所有する物件（建物、工作物）が被災した際に損害を補てんする共済事業について、火災、落雷、破裂、爆発、風災、水災、雪災及び土砂崩れを対象に実施しました。

〔支払実績〕

17件 3514万1301円

（内訳）

火災…2区2件、
落雷…3区4件、
風災…2区2件
降電…2区9件

*区政会館管理運営

5億3179万9840円

当協議会所有の東京区政会館に入居している公共団体、公益団体の執務環境を良好に維持するため、平成26年度に改定した中長期修繕計画を踏まえた建物管理計画に基づき、計画修繕を実施するとともに、防災機能強化計画に基づく工事を行いました。

また、特別区職員研修所が入居していた旧東京区政会館本館跡地に建設を予定している（仮称）東京区政会館別館の建設基本設計策定に向け、建物の規模・機能、研修施設の内容について検討を進めました。さらに、竣工までの間の同研修所の仮移転先として秋葉原に賃借している東京区政会館分室の管理を行いました。

収益事業等会計

東京区政会館賃貸事業（収1事業）及び特別区が連携して実施す

各会計収入支出決算総括表				
(単位：円)				
	収入決算額 (A)	支出決算額 (B)	当期収支差額 (C)=(A)-(B)	
公益目的事業会計	公 1 事 業			
	特別区の自治に関する調査研究及び普及啓発事業並びに特別区民等の住民福祉の向上に資する知識、教養の普及に関する事業	381,942,758	378,308,883	3,633,875
	公 2 事 業			
	特別区有物件の火災等による損害の補てん事業	55,619,749	55,431,664	188,085
	公 3 事 業			
収益事業等会計	特別区の共同事業の執務及び特別区の連携協議等の場としての東京区政会館等の管理運営事業	1,120,874,929	1,061,704,224	59,170,705
	小 計	1,558,437,436	1,495,444,771	62,992,665
	収 1 事 業			
	東京区政会館賃貸事業	202,710,595	169,485,013	33,225,582
	他 1 事 業			
法人会計	特別区が連携して実施する事務を支援する事業	27,186,418	21,297,374	5,889,044
	小 計	229,897,013	190,782,387	39,114,626
	法人の管理経費	10,862,720	21,476,752	△ 10,614,032
	各 会 計 合 計	1,799,197,169	1,707,703,910	91,493,259
	内 部 取 引 消 去	△ 54,610,628	△ 54,610,628	0
法人会計	合 計	1,744,586,541	1,653,093,282	91,493,259

る事務を支援する事業(他1事業)を行いました。

収入決算額
2億2989万7013円

支出決算額
1億9078万2387円

主な収入は、東京区政会館に係るテナント賃料及び駐車場賃料、自治体総合賠償責任保険事務手数料です。また、平成29年5月から(仮称)東京区政会館別館建設着

工までの3年間について、駐車場活用を目的とした土地貸付を開始したことによる収入も臨時的に発生しています。

主な事業内容及び支出は以下のとおりです。

*自治調整資金立替事業
特別区の職員が職務に起因して法律上の争いの当事者となった際、その裁判手続等に要する費用の一部を立替えました。

「支払実績」
13名 111万4800円

*自治体総合賠償責任保険事業
特別区が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害をてん補する「賠償責任保険」と、法律的責任はないものの道義的立場で特別区が被害者に支払う補償金(見舞金)をてん補する「補償保険」、「予防接種実施主体特約保険」及び「個人情報漏えい保険」に係

る各区の保険料を取りまとめ、保険会社へ支払いました。

「支払実績」
賠償責任保険…133件
1億7030万8163円
補償保険…280件328万円
予防接種実施主体特約保険…1件2216万3000円
個人情報漏えい保険…2件62万2951円

理事会及び評議員会の運営等、法人の総務管理を行いました。

収入決算額
1086万2720円

支出決算額
2147万6752円

主な収入は、基本財産運用益です。

※職員人件費、東京区政会館の維持管理経費等は、各会計で按分の上、支出しています。

総合計
各会計の合計から会計間のやり取りの重複を除いた(内部取引消去)後の合計は次のとおりです。

収入決算額計
17億4458万6541円

支出決算額計
16億5309万3282円

各会計の収入支出決算額及び当期収支差額は表のとおりです。

(特別区協議会総務部)

損害保険ジャパン日本興亜株式会社と 包括連携協定を締結

特別区長会では、全国各地域との信頼関係・絆をさらに強化し、連携を深める取り組みとして「特別区全国連携プロジェクト」を進めています。

このプロジェクトの趣旨について、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長…西澤敬二）に賛同いただいたことに伴い、今後、多面的な連携・協力を推進することを目的に、5月31日（金）に包括連携協定を締結しました。

特別区長会が民間企業と包括連携協定を締結するのは二例目で、損保業界としては初となります。

連携事項としては、産業振興、観光振興、芸術振興、防災・減災、特別区全国連携プロジェクトにかかる情報発信に関することの5項目です。特に、損害保険会社の特長を活かして、防災対策推進の分野等での連携を図っていくことが期待されます。

（特別区長会事務局）



山崎孝明特別区長会会長（左）と西澤敬二取締役社長（右）

「大田区立勝海舟記念館 オープン記念展示」を開催します

大田区では、勝海舟の眠る大田区洗足池の畔に、9月7日（土）勝海舟記念館をオープンします。

国登録有形文化財である「旧清明文庫」を保存・活用し、全国初の勝海舟記念館となります。

この度、開館に合わせ、東京区政会館1階エントランスホールにおいて、勝海舟記念館の紹介展示を行います。

この展示は、生誕の地である墨田区、邸宅のあった港区と連携をし、3区合同企画となっており、大田区と勝海舟との



竣工後の記念館外観

ゆかりや、勝海舟記念館の展示資料等をご紹介します。

勝海舟記念館の魅力を知っていただき、大田区の新たな名所となる「勝海舟記念館」への御来館をお待ちしています。



サンフランシスコの勝海舟肖像写真

●展示期間

令和元年8月27日（火）

～9月26日（木）

（日曜日・祝日を除く）

●展示時間

平日 9時～20時30分

土曜日 9時～17時

（大田区・特別区協議会事業部）



23区と地方自治の専門図書館

特別区自治情報・交流センター

所蔵資料ご紹介
～古地図編～

特別区自治情報・交流センターは、どなたでも自由にご利用いただける専門図書館です。23区が発行する行政資料、地方自治に関する図書所蔵するほか、江戸時代から昭和期にかけて作成された「江戸・東京の古地図」を収集し、展示しています。

今回は、「防災」をテーマとして、大正12年に東京に甚大な被害を及ぼした関東大震災に関する古地図と新聞記事を紹介します。

東京市火災動態地図（大正13年文部省震災予防調査会編）

大正12年9月1日11時58分頃、相模湾北部を震源とする関東大震災が発生しました。この震災は、当時の東京府と神奈川県を中心とする関東周辺に甚大な被害を及ぼし、中でも、東京市内は木造住宅が密集していたことから、多くの人が火災により焼死したといわれています。

この「東京市

火災動態地図

（9枚綴）は、

当時の文部省

が、関東大震災

により、東京市

内にどのように

火災が燃え広

がったのかを検

証した地図で

す。赤丸と矢印

でどこから出火

し、どのように

燃え広がったの

かを詳細に記し

ています。



東京市火災動態地図（四谷地区）

大阪毎日新聞（大正12年9月5日号外記事）

この新聞記事は、大正12年9月5日に関東大震災について報じた大阪毎日新聞の号外記事です。当時の各区の被害状況や、焼失した主な建物について記載があるほか、被災者の痛ましい写真も掲載され、震災が引き起こした甚大な被害を伝えています。

この紙面によると、東京市は、市内の家屋約25万戸が焼失し、中でも当時の神田区（現在の千代田区の一部）と日本橋区（現在の中央区の一部）は全焼してしまったとのこと



大阪毎日新聞（大正12年9月5日号外記事）

これらの資料は、現在、特別区自治情報・交流センターにて展示中です。その他にも、「大東京区分地図（昭和12年発行）」や「大東京名勝交通地図（昭和8年発行）」など様々な古地図を展示しています。

また、特別区協議会ホームページでは、デジタル古地図ページを開設し、「東京五拾区縮図（明治2年発行）」などを閲覧することができます。

◆ <https://www.tokyo-23city.or.jp/tokei/kochizu/>

これらの古地図から、東京大都市地域の変遷を思い浮かべることができ、興味深い内容となっています。是非ご覧になってみてください。

（特別区協議会事業部）

特別区職員研修所からのご案内

10月の研修メニューを紹介します

●ピックアップ研修

職層研修（清掃研修）『施設見学』

日時：10月18日（金）

対象：①清掃事業に従事する技能系職員（技能主任以下）

②その他清掃事業主管部署の職員

内容：「豊島清掃工場」、「中防処理施設」を見学します。

23区におけるごみの収集・運搬から中間処理、最終処分までの流れを学び、清掃事業全体についての理解を深めます。

研修名	実施時期	申込条件・メインターゲット（★）
専門研修		
構造	10/3(木)・4(金)・7(月)	建築構造審査を担当する職務経験1、2年程度の職員
公害規制	10/18(金)・21(月)	環境・公害規制部署で公害規制指導事務を担当する職員
課税①	10/21(月)・23(水) 24(木)・25(金)	住民税賦課事務を担当する職務経験2年程度の職員
地域保健	10月初旬～中旬	保健所・保健センター等に勤務する保健師・栄養士・歯科衛生士等
高齢者地域支援	10/9(水)	高齢者施策、高齢者保健福祉に携わる職務経験2年以上の職員
地区計画	①10/16(水)・17(木) ②10/16(水)・29(火)	地区計画を担当する職務経験1、2年程度の職員
河川	10/8(火)・9(水)	河川に関連する業務を担当する職員
中堅保育士①	10月下旬	保育・子育て支援に携わる職務経験15年以上の職員
大人の発達障害	10月下旬	発達障害のある人への支援に携わる職員
ステップアップ研修		
思考力・論理構築力向上⑥	10/28(月)	係長級以下の職員 ★主任の職員
対話によるポジティブ・アプローチ④	10/2(水)・3(木)	係長級以下の職員 ★主任の職員
説明力・交渉力強化⑤	10/30(水)・31(木)	係長級以下の職員 ★区民対応などの業務を円滑に行うため、分かりやすい説明や交渉力を身に付けたい主任以下の職員
クレーム対応⑤	10/29(火)	係長級以下の職員 ★窓口等で区民対応を行っている主任以下の職員
コミュニケーションスキルアップ④	10/8(火)	全職員 ★区民や職場の同僚との良好な関係構築に向けた、コミュニケーションスキルを身に付けたい採用2～6年目程度の職員
集客力を高めるチラシ・伝わる資料の作り方③	10/25(金)	主任以下の職員 ★区民向け講座などの企画や募集チラシ作成を担当する主任以下の職員
モチベーションコントロール②	10/10(木)・11(金)	主任以下の職員 ★モチベーションを維持する自己管理の方法やストレス予防の知識を学びたい主任以下の職員
悪質クレームの法的対応②	10/8(火)	全職員 ★日常業務において対応する悪質なクレームについての知識を深め、法的対応について学びたい係長級の職員
マネジメント実践のためのチームコーチング④	10/7(月)・11/5(火)	係長級以上の職員 ★チーム（係）としての成果を最大化できる部下の育成や支援を効果的に行うスキルを身に付けたい係長級の職員
メンタルヘルスマネジメント③	10/1(火)	係長級の職員 ★メンタルヘルスについての正しい知識とメンタルヘルス不調の予防や早期発見・早期対応方法等のマネジメント知識を身に付けたい係長級の職員
係長のためのマネジメント②	10/23(水)・11/7(木)	係長級の職員 ★タイムマネジメント、危機管理、目標管理、業務改善などのマネジメントスキルを効率よく体系立てて学びたい係長級の職員
サポート研修		
地方公務員法④	10/28(月)	1級職の職員 ★地方公務員法の基本理念や仕事の法的根拠を意識して職務を行いたい1級職の職員
地方自治法④	10/9(水)	1級職の職員 ★法令・根拠にあたる仕事の進め方を身に付けたい、これから地方自治法を意識して実務を行っていきいたい1級職の職員
行政法③	10/10(木)・11(金)	主任以下の職員 ★行政法の基礎知識を学び、行政職員としてその知識を仕事に役立てたい職員
政策法務	10/1(火)・2(水)	主任以下の職員 ★政策法務について学び、習得した知識・視点等を事業運営等の実務で活用したい主任以下の職員

※紙面の都合上、10月に実施する研修の一部を紹介しています。（一部、11月に実施する研修を含む）

※★は、各研修のメインターゲットとなる方についての表記となります。

※研修の募集及び申込は各区の研修担当を通じて行います。なお、区の意向により参加できる研修が異なりますので、各研修の申込方法や申込期限（研修実施日より一ヶ月程度前）については各区研修担当からの案内をご確認ください。

※研修内容の詳細については、特別区職員研修所ホームページ（<http://www.tokyo23city.or.jp/kensyujou/index.html>）もご覧ください。

（特別区職員研修所）

首都大学東京オープンユニバーシティ 飯田橋キャンパスより 9月開講講座のご案内です!!

●経営組織論を学ぶ

【講座コード：1921E005】

90年代からのIT化の進展により、ビジネスの世界では、企業が、物やサービスの供給システムを革新させてきています。それにより、社会や日々の暮らしも、格段に便利になり、より早く情報にアクセスできるツールも普及し、個人のライフ・スタイルにも変化がみられるようになりました。

しかし、ネットワーク社会の中で、財やサービスを提供し続けている企業にとって、このような新たな経営環境における競争は、ますます厳しさを増し、不況の中で、組織や経営システムの合理化や生産性の向上が、近年、強く求められるために、現場で働く人々の労働環境の変化や、常に新たな価値創造を求め続けられるストレスなどが問題になっていますが、どうも置き去りにされてい

るような気がします。そこで、本講座では、現代の企業におけるネットワーク組織の発展の実際を知ることにより、今後、社会の進もうとしている方向性や当然、発生するであろう様々な課題や社会への影響についても学習します。

講 師：横山 佳代子（よこやま かよこ）
首都大学東京 准教授 オープンユニバーシティ
日 程：9/3～9/24 火曜4回
時 間：18：30～20：00
受講料：10,000円
場 所：飯田橋キャンパス（東京区政会館3階）

●ダイアログ・トレーニング ～ 対話力を磨く 【講座コード：1921E007】

「ダイアログ」とは「対話」のことです。親と子、夫婦、上司と部下、対顧客、先生と生徒 自治体と住民 国と国。などなど、あらゆる場面で「対話」の重要性が叫ばれています。ところが、対話に必要な技術を学んでいる人、身に着けている人はほんのわずかです。日常の様々な場面で必要な「対話力」の基礎を学び、必要な場面で活用できるようなスキルを相互の演習を通して身につけます。コーチやカウンセラー、ケースワーカー、教師など、対人支援を専門にしている人にとっても、「原点」に立ち返る機会になるでしょう。

・「対話」とは何か～会話、議論との違い、自分との対話、他者との対話
・対話の技術①「聴く」②「伝える」③「理解する」そして「創造する」

講 師：本間 達哉（ほんま たつや）
国際コーチ連盟マスター認定コーチ
日 程：9/5～9/26 木曜4回
時 間：19：00～20：30
受講料：10,000円
場 所：飯田橋キャンパス（東京区政会館3階）

* 講座の概要については、首都大学東京オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。（特別区協議会事業部）

※特別区職員互助組合員の方はお申込みの際、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。

<問い合わせ先>

首都大学東京オープンユニバーシティ事務局 <https://www.ou.tmu.ac.jp/web/>

Tel. 03-3288-1050（平日 9：00～17：30）

●パンフレットを無料送付いたします。

平成30年度 東京二十三区清掃一部事務組合の決算概要

東京二十三区清掃一部事務組合は、「経営計画」及び「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、一般廃棄物の全量中間処理を担い、区民の信頼に応えるべく安全かつ安定した清掃工場等の効率的運営を行っています。

平成30年度の一般会計当初予算額は719億4000万円、補正後の最終予算額は763億5500万円となりました。

決算見込額は下図のとおりで、歳入が769億4005万円（対前年度比1.9%減）、歳出が731億6528万円（対前年度比2.2%減）です。

歳入 杉並清掃工場（平成29年9月しゅん工）の通年稼働等により売却電力量が増加し、電力エネルギー売却収入が増収となりました。

歳出 前年度に引き続き光が丘清掃工場及び目黒清掃工場の建替工事に加え、有明清掃工場の延命化工事に着手しました。

そのほか、埋立処分量の削減を図るため、焼却主灰のセメント原料の規模を拡大しました。（平成30年度は約3万3000トン）

決算の内容は次のとおりです。

歳入決算の概要

◎ 分担金及び負担金

326億5000万円

特別区分担金です。

◎ 使用料及び手数料

156億124万8200円
廃棄物処理手数料などです。

◎ 繰入金

73億円

「特別区分担金」を抑制するため、「財政調整基金」から繰り入れ、財源対策を図りました。

◎ 諸収入

113億1998万1445円

ごみの焼却熱を利用した電力・熱エネルギーの売却収入（107億3864万円）とごみから回収した鉄・アルミニウムなど有価物の売却収入等です。

歳出決算の概要

◎ 議会費

967万8871円

議会及び議会事務局の運営に要した経費です。

◎ 総務費

41億8320万3171円

本庁に勤務する職員の人件費、本庁管理経費、安全衛生経費、企画広報経費などです。

◎ 清掃費

591億2122万2460円

施設の管理・運営経費である「清掃費」と、建替等の経費である「施設整備費」からなっています。

▼ 清掃費

426億5058万973円

このうち、職員人件費を除いた清掃工場等の運営に係る経費は273億9183万円、不燃・粗大ごみ処理施設の運営に係る経費は55億6049万円、し尿処理施設の運営に係る経費は2億1218万円、焼却灰等の埋立処分に係る経費は22億5835万円でした。

なお、焼却主灰のセメント原料に係る経費は、15億583万円（実証確認分の経費1億3274万円を含む）でした。

▼ 施設整備費

164億7064万1487円

施設整備計画に基づく事業のほか、清掃工場や不燃・粗大ごみ処理施設の機能向上を図るために要

した経費です。

主な内訳は、光が丘清掃工場及び目黒清掃工場の建替工事や有明清掃工場の延命化工事、足立清掃工場のプラント制御用電算システム整備工事等です。

◎ 公債費

36億2117万6488円

組合債の元金及び利子の償還に要した経費です。

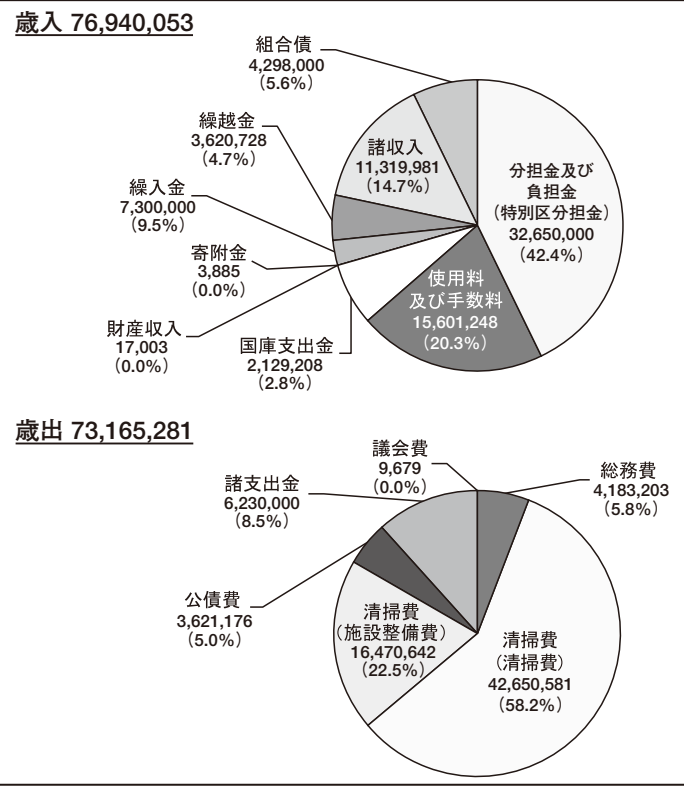
◎ 諸支出金

62億3000万円

年度間の調整財源として、「財政調整基金」への積立てを行いました。

（東京二十三区清掃一部事務組合 総務部財政課）

平成30年度 東京二十三区清掃一部事務組合決算見込額（単位：千円）



平成30年度 東京二十三区清掃協議会の決算概要

東京二十三区清掃協議会は、23区と清掃一部事務組合の事務の一部を共同処理するための組織で、清掃車の雇上契約や一般廃棄物処理業・浄化槽清掃業の許可事務、連絡調整事務を行っています。平成30年度の決算額は次のとおりです。

歳入 1952万4420円

清掃協議会は、各区の負担金によって運営されています。その他に前年度からの繰越金と、諸収入として預金利子がありました。

◎ 負担金 1380万円
(各区均等割)

◎ 繰越金 572万4284円

◎ 諸収入 136円

歳出 1315万8144円

◎ 総務管理費

▼ 管理費 317万9276円

協議会管理運営

・清掃協議会全体の総務及び清掃協議会の会議体の運営に関わる事務を行いました。

◎ 管理執行費

▼ 雇上契約事務費 8076円

雇上契約事務

・清掃車の雇上契約に関わる事務を行いました。

▼ 許可事務費

580万6192円

・一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可に関わる事務を行いました。

◎ 連絡調整費

▼ 車両事務費 6万9240円

清掃車両仕様調整

・清掃車両の仕様の調整に関する事務を行いました。

▼ 連絡調整事務費

409万5360円

連絡調整事務

・各区用MCA無線機本体の購入及び各区と清掃協議会のネットワーク構築に関する事務を行いました。

平成30年度 東京二十三区清掃協議会決算額 (単位：千円)

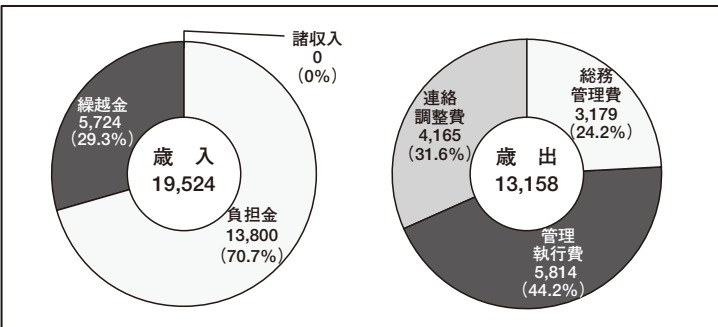
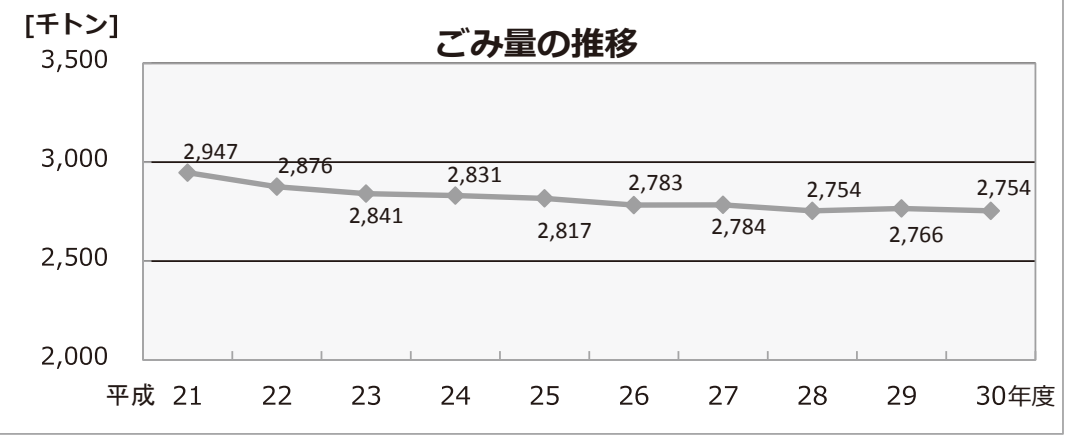


表. 東京23区のごみ収集量

種 別	区収集及び持込ごみ量 (t)		前年度比 (%)
	平成30年度	平成29年度	
区 収 集	1,766,177.08	1,782,644.23	99.1
可 燃	1,664,456.78	1,677,253.44	99.2
(うち管路)	(4,124.78)	(4,190.64)	
不 燃	42,208.58	46,714.75	90.4
粗 大	59,511.72	58,676.04	101.4
持 込	988,118.49	982,923.84	100.5
計	2,754,295.57	2,765,568.07	99.6

平成30年度における23区のごみ量は、区収集及び持込ごみ量を合わせて、275万4295.57トンでした。前年度と比較して、区収集は1万6467.15トン減少し、持込ごみは5194.65トン増加しました。全体では1万1272.5トン減少しました。

平成30年度 東京23区のごみ収集量について



(東京二十三区清掃一部事務組合 総務部事業調整課)



平成30年度 特別区競馬組合の決算概要

1 競馬事業の状況

平成30年度の大井競馬は、全20開催、99日にわたり開催いたしました。8月12日には、TCK所属的場文男騎手のデビューからの勝利数が7,152勝となり、地方競馬最多勝利記録を更新する偉業を成し遂げました。これを記念して多くのファンと関係者が一体となってこの偉業をお祝いするイベントを実施しました。また年末開催では、東京大賞典競走が地方競馬1レースの売上記録を記録するとともに、4年連続で1日の売上記録を更新しています。さらに年末開催の合計売上が177億4513万5560円となり、27年ぶりに地方競馬1開催の売上記録も更新しました。

平成30年度の総売得金額は1349億9000万円、一日平均では13億6300万円で、前年度と比べ4.4%の増加となりました。総利用人員は1,425万人余、一日平均では14万4016人で、前年度と比べ4.9%の増加となりました。

2 決算概要

平成30年度の競馬事業損益計算による当年度純利益は、61億4800万円となりました。

営業収益は1438億9100万円で、主な内訳は大井競馬の勝馬投票券発売収入等からなる競馬開催収益1364億7300万円と他の競馬場の勝馬投票券を場外発売すること等による場外業務収益73億400万円などとなっています。

営業費用は1375億3300万円で、このうち大井競馬の開催に要する競馬開催費用1322億300万円、他の競馬場の勝馬投票券を場外発売するための経費である場間場外費用47億4800万円、什器備品等の資産のうち平成30年度に費用化した償却費4億1000万円などとなっています。

営業収益から営業費用を差し引いた本業の利益である営業利益は、63億5800万円となりました。

また、営業外収益2億7500万円から営業外費用3億5400万円を差し引いて、営業利益に加えた経常利益は62億7900万円となりました。これに、特別利益と特別損失との差額を加え当年度純利益は61億4800万円となりました。

3 損益状況の推移

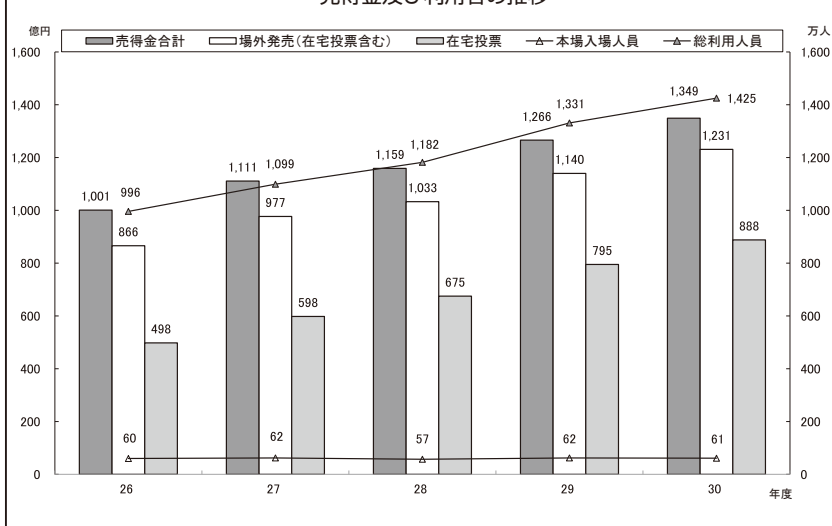
過去の損益状況をみると、平成22年度以降黒字決算を続けており、近年5年間の純利益は、平成26年度が20億1100万円、平成27年度が47億9100万円、平成28年度が40億9700万円、平成29年度が55億5000万円、平成30年度も決算概要のとおり前年度を上回る61億4800万円の黒字決算となりました。

平成30年度競馬事業損益計算書

		金額 (単位:百万円)	内 容
内 訳	営業収益	143,891	
	競馬開催収益	136,473	大井競馬の勝馬投票券発売収入等
	場外業務収益	7,304	他の競馬場の勝馬投票券を場外発売することでの収益
	その他営業収益	113	
内 訳	営業費用	137,533	
	競馬開催費用	132,203	大井競馬開催に要する経費
	場間場外費用	4,748	他の競馬場の勝馬投票券を場外発売するための経費
	一般管理費	171	
内 訳	償却費	410	什器備品等の資産のうち平成30年度に費用化した減価償却費
	営業利益	6,358	【営業収益－営業費用】
営業外収益		275	受取利息や東京都競馬株式会社の株式配当金等
営業外費用		354	各区への東京都競馬株式会社の株式配分金等
経常利益		6,279	【営業利益＋営業外収益－営業外費用】
特別利益		0	
特別損失		130	固定資産除却損
当年度純利益		6,148	【経常利益＋特別利益－特別損失】

※百万円単位で端数処理を行っている。

売得金及び利用者の推移



(競馬事務局 経理課)

*本文中の金額の数字はレコード記録を除いて、100万円未満切り捨て、%は小数点第2位を四捨五入となっております。

開催成績

(各回対比)

回別	開催日程	売得金額	利用者数	1 日 平 均			前年度同時期対比 (1日平均)		
				売得金額	利用者数	1人当り購買金額	売得金額	利用者数	1人当り購買金額
4	6/3～7	6,962,307,960円	761,772人	1,392,461,590円	152,354人	9,140円	107.4%	107.5%	100.0%
5	6/24～28	10,004,625,350円	1,023,817人	2,000,925,070円	204,763人	9,770円	118.5%	114.5%	103.4%



9月の開催予定

競馬開催日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
大井	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
川崎																														
船橋																														
浦和																														



東京記念 (S I)

- 9月18日 (水)
- 2,400m

1964年の東京オリンピック開催を記念して創設された、TCKでは数少ない長距離重賞です。第1回から変わることなく2,400mの距離で実施されている伝統の古馬重賞です。昨年からS Iに格上げしたことで、秋の一大JBCクラシックを目指す全国の地方馬が集う、注目の一戦になりました。

10月の開催予定

競馬開催日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
大井川船浦	井崎橋和	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
		大井競馬開催														大井競馬開催																		
		東京盃		レディスプレリュード												マイルグランプリ				川崎競馬開催										船橋競馬開催				
		浦和競馬開催																																



東京盃 (Jpn II)

- 10月2日 (水)
- 1,200m

1967年に創設された、地方競馬では全国で初となる短距離重賞です。1995年から全国交流

レースとなり、現在はJRAや他地区のスプリンターたちが集結し、自慢の快足を披露します。11月の大一番、JBCスプリントの行方を占う意味でも大切な一戦です。



レディスプレリュード (Jpn II)

- 10月3日 (木)
- 1,800m

プレリュード (前奏曲) の名の通り、2011年に新設されたJBCレディスクラシックの前哨戦で

す。2013年からは「Jpn II」競走となり、JRAも含め全国各地から牝馬のトップクラスが参戦する交流競走として、見逃せない一戦です。



マイルグランプリ (SII)

- 10月16日 (水)
- 1,600m

スピードと持久力のバランスが試されるマイル戦 (1,600m) で、年末に向けての重賞戦線を見据えた有力馬たちが出走します。過去の優勝馬には南関東を代表する数多くの実力馬が名を連ねています。

交通のご案内

●無料バスのご案内

①大井町線 (京急・東急バス)

往路: JR大井町駅 (中央口東・7番停留所)
復路: 正門3番乗り場より運行

②大森線 (京急バス) ★TCK開催中のみ運行

往路: JR大森駅 (東口・C7番停留所) 京急大森海岸駅経由
復路: 正門2番乗り場より運行

③錦糸町線 (はとバス) ★トゥインクルレース開催及び年末開催中のみ運行

往路: JR錦糸町駅 (南口) 復路: 北門横バス乗り場より運行

●復路のみの無料バスのご案内

①品川駅経由目黒線 (都バス・品93系統路線バス)

復路: 正門1番乗り場より運行

②JR品川駅直行バス (都バス) ★トゥインクルレース開催及び年末開催中のみ運行

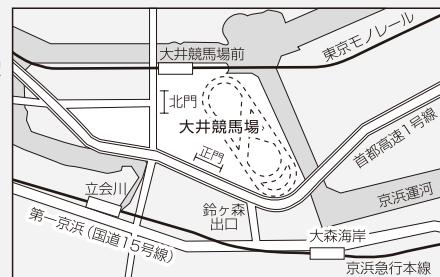
復路: 正門1番乗り場より運行

●その他の交通機関のご案内 (有料)

東京モノレール「大井競馬場前」駅
下車、徒歩2分
京浜急行「立会川」駅 (急行停車)
下車、徒歩12分

●駐車場のご案内

第1駐車場 1,471台
料金: 1日1台につき車1,000円、
オートバイ200円 ※第2、3駐車場
は混雑時のみ営業します。



編集

- 特別区長会事務局調査第1課
- 特別区議会議長会事務局
- 特別区人事・厚生事務組合総務部企画財政課
- 公益財団法人特別区協議会総務部企画財政課
- 東京二十三区清掃一部事務組合総務部総務課
- 特別区競馬組合競馬事務局開催サービス課

- TEL (5210) 9738 ホームページ <http://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>
- TEL (5210) 9731 ホームページ <http://www.tokyo23city-gichokai.jp/>
- TEL (5210) 9916 ホームページ <http://www.tokyo23city.or.jp/>
- TEL (5210) 9917 ホームページ <http://www.tokyo-23city.or.jp/>
- TEL (6238) 0615 ホームページ <http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>
- TEL (3763) 2170 ホームページ <http://www.tokyocitykeiba.com/>